

しかおい議会だより

第171号



6月定例議会

議員とカフェでひとことを開催
町政を問う・

委員会代表・一般質問

第4回 議員塾 塾生募集・

議会カレンダー ほか

ドナ・コーワンさん講演会・

通明小運動会

P2

P3

P4

P7

P8

かんしゃ
「完歩に感写」

撮影者 鹿追高校写真部 2年

なが や ゆ う
長 屋 結 羽 さん

6月6日に行われた完歩大会の
ゴールのシーンです。



鹿追町議会ホームページ 検索

■発行者 北海道鹿追町議会

■2026（令和8）年7月25日発行

【E-mail】 gikai@town.shikaoi.lg.jp

【URL】 <https://www.town.shikaoi.lg.jp>

2026年7月

保育園留学滞在の住宅改修、

エシカルタウン鹿追集会所の運営を補助

6月定例議会が6月11日から18日までの8日間で開かれた。条例改正、補正予算、工事議決、財産の取得、人事案件等を審議し、全て原案どおり可決した。

一般会計予算は、歳入歳出にそれぞれ3億5229万円を追加し、総額を109億3929万円とした。

主な条例改正

○町税条例（専決処分）

地方税法等の改正に伴い、個人住民税では配当所得や肉用牛売却所得、優良住宅地譲渡所得の特例を見直し、軽自動車税では環境性能割の廃止、グリーン化特例の延長を行う。

○町税条例

地方税法等の改正に伴い、個人住民税及び固定資産税に関する規定を改める。

扶養親族等申告書の提出範囲拡大、医療費控除特例や住宅ローン控除の延長、暗号資産所得の課税区分変更、固定資産税の免税点見直し等を行う。

令和9年1月1日施行（固

定資産税関係は令和9年4月1日、暗号資産の課税所得区分は令和10年1月1日施行。

象を、保育園留学の子どもや保護者等の町外者も対象とし、里帰り出産や短期滞在者の利用にも対応する。

主な補正予算

（一般会計）

○保育園留学滞在用住宅改修

2645万円



旧教員住宅（瓜幕東3）
保育園留学滞在用住宅に改修

瓜幕保育園所留家族の滞在施設として、旧教員住宅2棟の内装と備品整備を行う。天井、床、壁、ユニットバス、トイレ、照明、ストーブ、クローラー等を改修し、生活家電や什器を整備する。

令和9年度にも1棟の改修を予定する。

○エシカルタウン鹿追集会所

①備品購入費 290万円

②運営経費補助 370万円

エシカルタウン鹿追は再生可能エネルギーを活用した「ゼロカーボン北海道」のモデルとなる道営住宅で、集会所の運営経費を実施主体の社会福祉協議会へ補助する。



エシカルタウン鹿追集会所見学（南町3）

○男女共同参画セミナー 17万円

10月24日にピアモルトク

ラブハウスで開催予定。講師は空間Works代表の山川知恵さん。

○シカンサミット 40万円

11月16・17日に開催予定。（場所・講師未定）

○ゼロカーボンセミナー 20万円

令和9年1月頃に開催予定。（場所・講師未定）

○プレミアム付商品券発行事業

1650万円

商品券の割増率は25%で、申込期間は9月1日～18日、利用期間は11月2日～令和9年1月31日を予定。

○くらし応援補助事業

150万円

商工会が実施する年末謝恩大売り出し「生活・応援セール」事業を支援する。売り出し期間は11月5日～12月19日を予定。

○十字街商店街駐車場用地の借上げ及び整備 485万円

十字街商店街周辺の来訪者の利便性向上と中心市街地の活性化を図るため、民有地計957・34平方mを借り上げ、公共用駐車場として整備する。土地借上料と路面整地、舗装、ライン引き等の工費を補正予算に計上する。

工事議決

○瓜幕エリア自然体験留学センター新築

①建築主体工事 1億9965万円
②電気設備工事 8475万円
③機械設備工事 5395万円

※自営線設備工事については入札不調により、7月13日入札、16日工事議決予定。



十字街商店街駐車場（栄町1）

人事案件

○農業委員の任命に同意

任期満了に伴い、左記の農業委員13人を任命同意した。

任期は令和11年7月19日まで。

上嶋茂さん
郡谷政典さん
松浦修さん
島かおるさん
藤井史織さん
大上俊行さん
金子幸一さん
加藤元幸さん
坂本慎一さん
植田雅敏さん
那賀島穂さん
台蔵誠さん
最上繁人さん

○固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について、馬場厚子さんの新任に同意した。

任期は令和11年6月29日まで。

意見書

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林は全国の約4分の1を占め、温暖化防止や国土保全など多面的機能を有する。

ゼロカーボン北海道の実現に向け、森林整備、防災・減災、道産木材利用、木質バイオマス活用、人材育成などを進めるため、必要な予算確保と支援の充実強化を国に求める。

主な質疑

国保病院経営診断事業

川染 洋議員

問 病院経営診断の発注背景、目的、業者選定方法は。

答 今回のコンサルタント業務は、国や道からの要請や事業者からの営業によるものではなく、町長の判断により予算計上した。

過去にも経営診断を実施

まちなか会議
「議員とカフェで
ひとこと」を開催

5月19日、「まちなか会議 議員とカフェでひとこと」を国際交流センター平成館で開催しました。

当日は6人が参加し、街路灯等の道路維持管理、国立公園で実施されている地熱発電調査、町立病院の支払いにかかる内部連携、行政区の活動、スポーツセンターの受付等について質問や意見がありました。

次回は8月25日（火）11時より同館で開催予定です。お気軽にお越しください。

公共性と経済性の調和を図り、医療・介護機関との連携、病床運用、経費削減、住民ニーズ把握等を通じて、地域医療を支える病院経営改革につなげる。

○病院経営診断・支援委託料

541万円

○公営企業財務会計システム委託料

70万円

公営企業財務会計システムの入れ替えに伴う委託料の差額を補正した。

○街路灯新設

32万円

中鹿追公民館及び笹川北14線に街路灯を追加する。

【病院事業会計】

○公営企業財務会計システム委託料

70万円

公営企業財務会計システムの入れ替えに伴う委託料の差額を補正した。

○病院経営診断・支援委託料

541万円

○患者輸送バス兼スクールバス購入一式 1230万円
○スクールバス購入一式 1225万円

財産取得



自然体験留学センター建設予定地（瓜幕東2）

○鹿追中学校バリアフリー化改修工事

1億920万円

○患者輸送バス兼スクールバス購入一式 1230万円
○スクールバス購入一式 1225万円

しているが、社会情勢や診療報酬等が変化しており、現状に即した見直しが必要である。黒字化のみを目的とせず、自治体病院の役割を踏まえ、無駄の削減や病床規模を含めた経営全体を検証する。

業者選定は金額のみで判断せず、提案方式等を検討する。



町政を問う。

6月17日、産業厚生常任委員会が代表質問、4人の議員が一般質問を行った。



産業厚生常任委員会
かわそめ 川染 洋 委員長

再エネ設置条例

再生可能エネルギー施設

設置条例の制定は

過度な規制と事業を見極め
最適な規制と誘導を検討する

(質問)

化石燃料は豊かな生活を支えてきたが、複合的な環境汚染や不可逆的な気候変動を招いてきた。今後は太陽光発電や風力を中心とする再生可能エネルギーが拡大する。

鹿追町も脱炭素先行地域として、事業者の今後の設置については無秩序な開発を規制しつつ、地域利益還元やマイクログリッド構想に連携できる再生可能エネルギー条例が必要であると本委員会は思考したものであるが、町長の所見は。

再生可能エネルギー導入を推進し、鹿追町も自営線ネットワークやゼロカーボン宣言等、エネルギーの地産地消に取り組んでいる。

太陽光発電は景観、自然環境、安全面で懸念もあり、地域との共生が重要である。町内には77か所が設置され、メガソーラーも稼働中である。現行法では自治体独自の建設差し止めは難しく、各地で問題が発生していることから、国は規制強化を進めている。道内でも条例の制定の動きが広まっている。

周辺自治体の動向や先進事例を十分調査し、今後は過度な規制への配慮と利益還元のできる事業等を見極めながら、本町に最適な規制と誘導のあり方を慎重に検討したい。



かねこ 金子 議員

災害対応

将来の大規模災害への
備えを問う

平時時から持続的な備えと
体制整備を進める

(質問)

強靱化計画や本年3月改定の地域防災計画に基づき、平時時から備えを進めている。町内小売業者を含む各種防災協定を締結し、総合防災ハザードブックを全戸配布した。防災行政無線はデジタル化し、SNS連携で迅速な情報伝達が可能となった。公共施設の電力はマイクログリッド整備で回復力を強化し、避難所最大想定213人で3日分の食料等を分散備蓄している。

(質問)

令和6年度には地域防災訓練の実施の考えは。

(質問)

町民が広く参加する防災訓練の実施の考えは。

(質問)

国は脱炭素化の観点から

周辺自治体の動向や先進事例を十分調査し、今



自営線ネットワークの太陽光発電と蓄電施設
東側に脱炭素先行地域事業で太陽光発電施設を設置予定

(質問)

近年、自然災害は頻発・激甚化しており、災害に強いまちづくりと人づく

(質問)

町民が広く参加する防災訓練の実施の考えは。



移動回転釜による炊き出し



ささき やすと 議員

ジオパーク

ジオパークを
どう発展させていくのか

関係者と価値を共有し
町の魅力発信を強化する

(質問)

とかち鹿追ジオパークは、今年1月の再認定を受け、その価値が継続して認められ、観光、教育、環境保全、防災等、多岐にわたる分野で関係者の努力により、一定の成果を上げている。

ジオパークは、平成25(2013)年に認定以来、3度の再認定審査をクリアしながら、これまで約13年間にわたってとかち鹿追ジオパーク推進協議会、そして中心となるジオパークビジターセンターを中心に町民皆様に御協力いただきながら、貴重な自然環境の保全、環境教育、観光資源、防災意識の向上等、様々な分野において一定の成果を残している。

今後は地域ブランドの方向性について、行政のみならず、農業者、商工観光事業者、教育関係者、地域団体等、地域を構成する幅広い主体が協議共有し、それぞれの立場から本町の価値を整理し、さらなる本町ならではの取り組みとして展開を強化していく必要があると考えている。

(質問)

ジオパークは、平成25(2013)年に認定

今後は地域ブランドの方向性について、行政のみならず、農業者、商工

(質問)

ナキウサギやエゾモング、シマフクロウ等の貴重な野生動物は、本町の大きな魅力であり、重要な財産である。

駒止湖周辺等の路上・路肩駐車対策で、看板設置やホームページ等でマナー啓発、来訪者へ保護対策の聞き取り、観察場所へロープ設置等の対策を行ってきた。

旧道の一部で所有者不明箇所が明確化が必要。所有者を明らかにした上で対策を関係機関と協議する。

(質問)

動物へは餌付けをしないとか、歩道を外れない等、最低限のルールをレンタカー会社と連携し積極的に周知しては。

(質問)

レンタカー会社と連携を検討し、対策を進める。

本町ジオパークの最大の強みは、壮大な大地の成り立ちが現在の豊かな農業や独自の生態系と地続きストーリーにある。商工観光、農政、そして教育それぞれの垣根を越えて緊密に連携させ、ジオパーク事業をどう戦略的に発展させるのか。

とかち鹿追ジオパークの最大の特徴は、火山活動や凍れといった、大地の営みが豊かな農業、多様な生態系、さらには人々の暮らしへとつながっている一連の物語が極めて重要な資源と考え



とかち鹿追ジオパーク会館(瓜幕西29線28)
拠点施設として情報発信中

また、登山道整備や動植物の生態系維持等、持続可能な観光地として手を打つべき課題もある。この無秩序な駐車問題に対する現状認識、そして今後の具体的な安全対策、環境保全策は。

然別橋の旧道に駐車する状況がある。旧道の管理者は、整備は可能か。



ナキウサギ



第4回 議員塾 塾生募集



鹿追町議会では、2期連続無投票当選を受け、議員を目指す方や議会に関心のある方に議会を知っていただくことを目的に、なり手不足解消に向けて令和7年2月から「議員塾」を開催しております。座学では議員が講師を務め、議会の概要・立候補の方法・議員のやりがいや役割を説明します。また、塾生は本会議・決算審査特別委員会を傍聴し、実際の議会活動をご覧ください。この機会にぜひ参加してみませんか？お待ちしております。

内 容	日 時	場 所
開塾式・座学 (議会の概要・議会の取組・議員活動)	8月31日(月) (開塾式と同日) 【午前・午後・夜間】いずれか	委員会室
傍 聴	総務文教常任委員会	9月2日(水) 9:30 委員会室
	産業厚生常任委員会	9月3日(木) 9:30 委員会室
	全員協議会	9月7日(月) 9:30 委員会室
	議会運営委員会	9月7日(月) 14:00 委員会室
	定例議会 一般質問	9月16日(水) 10:00 議 場
決算審査特別委員会	9月18日(金) 9:30 議 場	
まとめ・閉塾式	9月25日(金) 時間未定	委員会室



申し込みQR

申し込み：氏名（ふりがな）・住所・生年月日・電話番号を明記のうえ、下記のいずれかからお申し込みください。
 [鹿追町議会事務局] ・TEL：0156-66-4039 ・FAX：0156-66-4041
 ・メール：gikai@town.shikaoi.lg.jp ・申し込み QR コード

まちなか会議 議員とカフェでひとこと



議会では、皆さまとの意見交換ができる懇談の場を設けています。まちや議会に関する疑問や意見、ちょっと気になる話題等、気軽にお話しませんか？
 令和8年8月25日（火）午前11時00分 国際交流センター 平成館にて開催
 しみず ひろのり 清水 浩徳 議員と あんどう みきお 安藤 幹夫 議員 がお待ちしております (予約は不要です)



定例議会の動画をYouTubeで配信します。右記のQRコードを読み取るか、鹿追町議会ホームページの「議会中継」ページからご覧ください。



議会中継

定例議会、決算審査特別委員会傍聴、議会報告会・広聴会、カフェでひとことは予約不要です。お気軽にお越しください。



議会カレンダー

内容	日時	場所
まちなか会議 議員とカフェでひとこと	8月25日(火) 11:00	国際交流センター 平成館
9月定例議会 本会議 初日	9月9日(水) 10:00	議場
9月定例議会 本会議 (残り)	9月10日(木) 10:00	議場
9月定例議会 本会議 一般質問	9月16日(水) 10:00	議場
9月定例議会 本会議 一般質問 (残り)	9月16日(水) 10:00	議場
令和7年度 決算審査特別委員会	9月18日(金) 9:30	議場
令和7年度 決算審査特別委員会	9月24日(木) 9:30	議場
9月定例議会 本会議 最終日	9月25日(金) 10:00	議場
議会報告会・広聴会	10月21日(水) 11:00	経済観光交流館 ほほえみプラザ



つぶやき

■暑い日にアイスを食べたいと思ったが、微妙な気分。早く物価高が落ち着きますように。

(質問) 森林の持つ価値は自然環境の保全や農村風景という景観の質を向上させる等、町民共有の財産であり、将来の世代へ適切な形で引き継ぐことは現世代の責務である。

地域住民は防風保安林内で発生した、倒木処理に対して関心は高い。

今回、処理方法について整理した方針が示された。これは国の整備事業を活用した処理方法であるが、具体的事業内容は。

(答弁) 喜井町長

(質問) 農村景観形成と強風災害から環境を守ってきた防風林の価値や管理方法について、専門家や研究者と共同研究の考えは。

(質問)

て広範囲である。原因は強風と緩んだ地盤という自然環境の外的要因と、林帯構造の状況が重なったためと分析している。現在検討している、国の保安林整備事業の活用は町の財政負担が無く、令和9年から複数年に分けて計画的に処理を進めていくことが可能となる。周辺の森林間伐事業と連動させ事業化を進める。

専門機関が持つ最新の知見や情報を収集し、今後の風害に強い防風林づくりや維持管理に生かすため、今回の事例を記録・蓄積し、利便性と持続性が調和した森林保全と整備を進める。



防風保安林内で主にカラマツが強風により倒木（東瓜幕）

(質問) 公園は憩いの場や防災拠点として整備してき

(答弁) 喜井町長

(質問) 各公園はきれいに管理されているが、子どもたちや観光客が目的地として訪れたい魅力づくりが課題と考える。

道の駅しかおの周辺を重点整備エリアと位置付け、大型遊具、ジップライン、広いドッグラン、花のガーデン等を集中的に整備しては。花壇は集約することで維持管理の効率化と、庭造りのノウハウ継承が期待できる。屋内遊び場に旧幼稚園を活用しては。

「みんなの木育広場」は森林環境譲与税の目的に沿った活用か。

(質問) 財源を事業実施の根拠とするのではなく、まず町民ニーズ等を基に計画を立て、その上で補助金等の財源を探るのが行政の仕事ではないか。

限られた予算を町内全体へ薄く配分するのではなく、道の駅しかおの周辺と、乗馬ができるという、珍しい特長のある道の駅うりまく周辺に集中

た。今後は再編・統合も含め検討する。大型遊具や特色ある施設が集客に有効なのは理解するが、景観調和や財源確保の課題もある。

屋内遊び場の整備も必要性は認識している。木育広場は植樹のイベントを予定している。



道の駅しかおの

(質問) 投資し、観光振興や地域活性化につなげては。

(答弁) 喜井町長

ニーズがあっても、財源や財政状況を考慮せず事業化は難しい。

一方、遊具設置や公園の魅力向上は課題と認識している。道の駅しかおのには将来的に再整備が必要であり、その際は周辺エリア全体のあり方や重点的な公園整備を年次計画を含め検討したい。



かりの 狩野 正雄 議員

町有林

Q 町有林の維持と経営管理の計画は

A 国の事業を最大限活用して健全な林帯を育成



やまぐち ゆうこ 議員

公園整備

Q 道の駅しかおのに大型遊具を

A 公園のあり方を検討する



つぶやき

■町外の知人から「鹿追町、いろいろと頑張っているね」と声をかけられる。もっと多くの「いろいろ」を。がんばろう。



ドナ・コーワンさん講演 ストニイプレイン町と友好40年を語る



ドナ・コーワンさんが交流40年を講演

5月11日、カナダ・ストニイプレイン町（ス町）の元町長ドナ・コーワンさんによる講演が、「4人の鹿追町長と共に歩んだ40年の友好」と題して町民ホールで開催されました。

ドナさんは昭和59（1984）年に当時の佐渡一男町長を団長とする訪問団16名の受け入れに尽力。昭和61（1986）年にス町商工会議所会長とし

て、第1回ス町友好訪問団で初来日しました。

平成7（1995）年～平成19（2007）年の4期12年間、ス町町長として鹿追町と友好の架け橋をつなぎ、特に鹿追高校のス町訪問が選抜から1学年全員の訪問に拡大する際、受け入れ体制整備に手腕を発揮されました。

町長退任後も度々来町し、今回の訪問が27回目。鹿追高校訪問や民間レベルの両町友好関係にも多大な貢献をされています。

講演では、歴代4町長との思い出や両町の友好関係を育んだ歴史とエピソードを織り込み、未来への大きな期待をお話ししました。

ドナさんは最後に「交流開始当時を知る人が少なくなりましたが、今後の交流にさらに期待する」と述べられました。

（取材 黒井敦志）



グラウンドに響く歓声 世代を超え集う 通明小学校運動会



運動会の参加者全員で記念撮影

令和9年3月に閉校を予定する通明小学校で、最後の運動会が6月13日に開かれました。

子どもたち、保護者、地域の皆さんが和やかに、そして明るく競技を楽しんでいる姿は、通明小学校がどれほど地域の存在として大切だったのかを改めて感じるものでした。

○児童会長 井馬連哉さん
「最後の運動会だから、練習から楽しめば当日も楽しくできると、みんなで思ってた張りしました」

○通明小学校校長 小林亮さん
「通明小学校の運動会は、今回が最後。けれども、通明という地域、そこに暮らす人々の歩みは、これからも続いていきます。今日のこの日は、その新たな一歩です」

○通明小閉校記念協賛会長 神谷秀敏さん
「通明小を中心に、子どもから大人までが集い、楽しい時間を共有することが大切と改めて感じました」

（取材・インタビュー 金子孝伸）

編集後記

初夏を迎え、町内では農作業や各種行事が本格化する季節になりました。今定例会では、町民生活に関わる案件について審議いたしました。

議会は今後も町民の皆様の声に耳を傾け、より良い町づくりに向けて議論を重ねてまいります。

ひきつづき議会に対するご意見ご要望をお待ちしております。

議会広報部会 部会員 青 砥 敏 一

議会広報広聴常任委員会 広報部会

部会長 佐々木康人
副部長 山口 優子
部会員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志